

身近な野の花に、生きる喜びや幸せをやさしい言葉で添える詩画家・星野富弘氏の作品は、みる人の心を癒し、励ましてくれます。この度、富山市では33年ぶりに花の詩画展を開催することとなりました。この機会に子供たちをはじめ、一人でも多くの方と心豊かな一時を共有し、あたたかな地域社会を構築する一助となればと願っております。本展では、新作を含め「いのちの尊さ・いのちの輝き」にあふれた感動の作品70点を展示いたします。世代を超えて広く親しまれ、多くの人々を魅了してやまない作品に会いに、ぜひお出かけください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

富山 星野富弘花の詩画展を開く会 会長 蓮池 浩二 (株式会社リッチェル・代表取締役社長)



## 星野 富弘 (ほしの とみひろ) プロフィール

- 1946年 群馬県に生まれる。
- 1970年 体育の教諭になるが、クラブ活動の指導中頸髄損傷、手足の自由を失う。
- 1972年 口に筆をくわえて詩や絵を書き始める。
- 1981年～ 雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を始める。
- 1982年 高崎で「花の詩画展」開催。以後、全国各地で「花の詩画展」を開催。
- 1991年 群馬県勢多郡東村(現みどり市)に村立富弘美術館開館。
- 1994年～ ニューヨーク・ハワイ・サンフランシスコ・ワルシャワなど海外でも「花の詩画展」を開催。
- 2005年 (新)富弘美術館開館。
- 2014年 富弘美術館の入館者数が650万人を超える。
- 2016年 富弘美術館開館25周年。

### 主な著書

- 「新版 愛、深き淵より。」「新編 風の旅」「風の詩」「詩画とともに生きる」 (学研プラス)
- 「鈴の鳴る道」「かぎりなくやさしい花々」「速さのちがう時計」「あなたの手のひら」
- 「花よりも小さく」「種蒔きもせず」「足で歩いた頃のこと」 (偕成社)
- 「山の向こうの美術館」 (富弘美術館・偕成社)
- 「銀色のあしあと」「たった一度の人生だから」「ことばの雫」「いのちより大切なもの」
- 「あの時から空がかわった」 (いのちのことば社)



すずめ



こぎく



いちご

©Tomihiko Hoshino

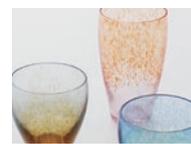


## ミュージアムショップ

### ガラス美術館 2F

会期中、2Fのミュージアムショップでは、詩画展の感動をそのままご自宅で、贈り物として、お楽しみいただける各種商品をご用意しております。

星野富弘さん作品のペーパーアイテムのほか、オリジナルのガラス商品、富山詩画展特別商品などもご用意いたしました。ぜひ美術館2Fのショップにもお立ち寄りください。



写真はイメージです。

# 富山市ガラス美術館

〒930-0062 富山市西町5番1号 5Fギャラリー 1・2

### 展示会場

富山駅から市内電車 環状線「グランドプラザ前」下車 徒歩約2分  
富山駅から市内電車 南富山駅前行き「西町」下車 徒歩約1分

くわしくは、「富山市ガラス美術館」のホームページ、  
<ご利用案内>から<交通アクセス>をご覧ください。

[http://toyama-glass-art-museum.jp/visitor/#about\\_access](http://toyama-glass-art-museum.jp/visitor/#about_access)

### お問合せ

富山 星野富弘花の詩画展を開く会事務局

TEL. 080-1220-1465 (担当:小崎)

<http://toyama.shigaten.com/>



専用駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。車でお越しの際は周辺の有料駐車場(地図内P1~P10)をご利用ください。